

芸術文化会館(いちようホール)

施設名		芸術文化会館(いちようホール)													
視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)		
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)					
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	事業計画書に基づく人員の配置 【館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名】	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名を配置。	B		事業計画書に基づき、館長1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名を配置。 なお、主査1名については休職中となっており、10月に復職予定。	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名(10月1日に復職)、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名を配置。	B		事業計画書に基づき、館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名を配置した。		
	事業計画書に基づく有資格者の配置	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	事業計画書に記載の有資格者のほか、さらに以下のとおり有資格者を配置した。 ・上級救命技能認定者(消防)1名 ・第1種衛生管理者1名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・サウンドレコーディング技術1名 ・建築物環境衛生管理技術者(ビル管)1名 ・ポイラー1級1名 ・ポイラー2級4名 ・第1電気工事士2名 ・第2電気工事士2名 ・乙種第4類危険物取扱者3名	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保して、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	事業計画書に記載の有資格者のほか、さらに以下のとおり有資格者を配置した。 ・上級救命技能認定者(消防)1名 ・第1種衛生管理者1名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・サウンドレコーディング技術1名 ・建築物環境衛生管理技術者(ビル管)1名 ・ポイラー1級1名 ・ポイラー2級4名 ・第1電気工事士2名 ・第2電気工事士2名 ・乙種第4類危険物取扱者3名	A	事業計画書に基づいた有資格者の配置に加え、施設の管理運営上、配置が望ましい資格保有者を確保し、安定した施設運営につなげている点は評価したい。	A	事業計画書に記載の有資格者のほか、さらに以下のとおり有資格者を配置した。 ・上級救命技能認定者(消防)1名 ・第1種衛生管理者1名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・サウンドレコーディング技術1名 ・建築物環境衛生管理技術者(ビル管)1名 ・ポイラー1級1名 ・ポイラー2級4名 ・第1電気工事士2名 ・第2電気工事士2名 ・乙種第4類危険物取扱者3名
	設備点検実施回数 【建物管理5回、空調・給排水52回、昇降機等82回、舞台設備40回】	-	年度末の数値をもって評価する。	-	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 1回 空調給排水 11回 昇降機等 18回 舞台設備 9回	-	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 2回 累計 3回 空調給排水 17回 累計 28回 昇降機等 22回 累計 40回 舞台設備 12回 累計 21回	-	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 2回 累計 5回 空調給排水 12回 累計 40回 昇降機等 20回 累計 60回 舞台設備 6回 累計 27回	B	建物管理の点検を1回増やしたとのことだが、確認したところ、点検に不備があったため、再度点検させたものであった。	B	設備点検実施回数は次のとおり。 建物管理 1回 累計 6回 空調給排水 12回 累計 52回 昇降機等 22回 累計 82回 舞台設備 13回 累計 40回 建物管理保守点検は、施設の老朽化を踏まえ維持管理を徹底するため、業者と調整し点検回数を増やすことが出来た。		
団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	B		協議に基づき、収入については施設ごとに入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。	B		協議に基づき、収入については施設ごとに入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。	B		協議に基づき、収入については施設ごとに入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。	B		協議に基づき、収入については施設ごとに入金専用口座で受け入れ、支出については財団本体のメイン口座で一括管理している。		
	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	B		資金は財団メイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。	B		資金は財団メイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。	B		資金は財団メイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。	B		資金は財団メイン口座にて適正に管理し、経理内容を明確にしている。		
	利用料金の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B		利用料金は適正に徴収している。新型コロナウイルスの影響による料金の還付についても、引き続き適正に対応している。	B		利用料金は適正に徴収している。新型コロナウイルスの影響による料金の還付についても、引き続き適正に対応している。	B		利用料金は適正に徴収している。新型コロナウイルスの影響による料金の還付については、12月1日以降のご利用につき、コロナ以前の規程に戻して対応している。	B		利用料金は適正に徴収している。また、1月21日から3月21日まで、再度新型コロナのまん延防止期間であったため、利用者から利用中止の申し出があった際は適切に還付対応を行った。		
	収支計画が適正であること	B		新型コロナウイルスの影響により収入が目標を下回ることが見込まれるため、極力支出を抑制し収支バランスの確保に努めた。	B		新型コロナウイルスの影響により収入が目標を下回ることが見込まれるため、極力支出を抑制し収支バランスの確保に努めた。	B		新型コロナウイルスの影響により収入が目標を下回ることが見込まれるため、極力支出を抑制し収支バランスの確保に努めた。	B		新型コロナウイルスの影響により収入が目標を下回ることが見込まれるため、極力支出を抑制し収支バランスの確保に努めた。		
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B		新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、夜間区分利用制限に合わせて勤務時間を調整し、適切な人員配置を行っている。	B		新型コロナウイルスの影響により夜間区分の利用制限を行っているが、それに合わせ勤務時間を調整し、適切な人員配置を行っている。また、以下の研修により人材育成に努めた。 研修内容： ・立川ステーションガーデン音響セミナー ・INTER BEE(国際放送送機器展)参加 ・交通安全研修・情報セキュリティ研修 ・会計担当者研修 ・普通救命講習(AED)研修	B		新型コロナウイルスの感染者は大幅に減少したものの、収容人数の一部制限は継続している。人員配置については、状況に応じて適切に行っている。また、以下の研修により人材育成に努めた。 研修内容： ・地域劇劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 ・環境マネジメントシステム研修 ・サービスマネジメントフォローアップセミナー	B		新型コロナウイルスの感染者の減少により、通常開館となっているものの、収容人数の一部制限については継続し、安全安心に努めている。人員配置は通常開館に合わせて適切に行った。また第4四半期は以下の研修により人材育成に努めた。 研修内容： ・地域劇劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 ・環境マネジメントシステム研修 ・サービスマネジメントフォローアップセミナー		
	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。	B		給与の支出は給与規程に基づき適切に行っている。		
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B		事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B		新型コロナウイルス感染症の影響で収入は減少しているが、併せて支出を抑制し適正な経営状況を保っている。	B		新型コロナウイルス感染症の影響で収入は減少しているが、併せて支出を抑制し適正な経営状況を保っている。	B		新型コロナウイルス感染症の影響で収入は減少しているが、併せて支出を抑制し適正な経営状況を保っている。			
業務に関連する法令一覧の更新回数【1回/年】	業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B		「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市の承諾に基づいて一部委託を行っている。	B		「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市の承諾に基づいて一部委託を行っている。	B		「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市の承諾に基づいて一部委託を行っている。	B		「芸術文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務については、市の承諾に基づいて一部委託を行った。		
	サービス介助士 取得率100% (貸館業務10名、舞台管理業務5名) ただし、期中の新規採用者、休職中の職員は除く。	B		4月に更新	-		4月に更新済み。	-		4月に更新済み。	B		年度当初の4月に更新し、適切な施設の運営につなげた。		
	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例：条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B		開館日数 78日 ※4月27日から5月31日までは原則利用休止 開館時間 9時から原則20時まで ※4月11日までは原則21時までの時短要請 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市の指示に従い利用制限を行った。利用者には利用制限情報の迅速な周知に努め、公平性を確保した。	B		開館日数 80日 開館時間 9時から原則20時まで 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市の指示に従い利用制限を行った。利用者には利用制限の情報など迅速な周知に努め、公平性を確保した。	B		開館日数 76日 開館時間 9時から20時まで ※12月1日からは9時から22時まで 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市の指示に従い利用制限を行った。利用者には利用制限の情報など迅速な周知に努め、公平性を確保した。	B		開館日数 78日 累計312日 開館時間 9時から22時まで ※9時から22時までの時間を厳守した。		
減免の申請手続きがなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合) 【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	B		減免団体取扱要領に基づき適正に対応している。第1四半期では該当する申請は1件だった。	-		減免団体取扱要領に基づき適正に対応している。第2四半期では該当する申請は0件だった。	B		減免団体取扱要領に基づき適正に対応している。第3四半期では該当する申請は2件だった。	B		減免団体取扱要領に基づき適正に対応した。第4四半期では該当する申請は4件だった。累計7件			
文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例：ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B		会館運営業務文書一覧表およびファイル基準表に基づき、適切に管理している。	B		会館運営業務文書一覧表およびファイル基準表に基づき、適切に管理している。	B		会館運営業務文書一覧表およびファイル基準表に基づき、適切に管理している。	B		会館運営業務文書一覧表およびファイル基準表に基づき、適切に管理した。			
修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例：事業報告書・実地調査】	B		大規模改修を念頭に、学園都市文化課と連絡をとりながら適切な施設保全を行っている。	B		大規模改修を念頭に、学園都市文化課と連絡をとりながら適切な施設保全を行っている。	B		大規模改修を念頭に、学園都市文化課と連絡をとりながら適切な施設保全を行っている。	B		大規模改修を念頭に、学園都市文化課と連絡をとりながら適切な施設保全を行った。			
備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例：備品台帳・実地調査】	B		清掃や除菌、汚れや破損の修繕など、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立って定期的に管理を行っている。	B		清掃や除菌、汚れや破損の修繕など、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立って定期的に管理を行っている。9月に市からの照会により備品の確認を台帳と照らし合わせて行った。	B		清掃や除菌、汚れや破損の修繕など、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立って定期的に管理を行っている。備品照合の結果問題等は無く、その旨に報告した。	B		年間を通じて、備品の清掃や除菌、汚れや破損の修繕など、お客様の声を聴きながら利用者の目線に立って管理を行った。			

令和3年度(2021年度)芸術文化会館モニタリングシート

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設のサービスの向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用者満足度	-		8月から9月の実施に向けて準備している。	-		実施中	A	目標を達成するとともに、総合的な満足度は高い水準を維持している。積極的に評価したい。		11月末をもってサンプル回収(155件)を完了。集計結果を12月8日に市に提出済み。なお、総合的な満足度は99.4%で前年と同レベルだった。	目標値の120%以上で達成したため、A評価とした。コロナ禍においても高い満足度を維持している点は評価できる。	本年度の満足度調査は、8月から10月にかけて行い、結果は総合的な満足度99.4%と目標を上回る事ができた。
	ロビーコンサート実施回数 30回	-	年度末の数値をもって評価する。	4月 4回 52名 5月 0回 ※緊急事態宣言中 6月 3回 59名 計7回実施 参加者112名	-		7月 3回 53名 8月 2回 37名 9月 2回 69名 計7回実施 参加者117名 累計14回 参加者数229名	-		10月 3回 69名 11月 3回 105名 12月 3回 88名 計9回実施 参加者262名 累計23回 参加者数491名	目標を達成したことを評価したいところだが、A評価の基準まで至っていないため、やむなくB評価とする。	1月 4回 71名 2月 3回 50名 3月 4回 147名 計11回実施 参加者268名 累計34回 参加者数759名 年度目標を達成することができた。	
	八王子音楽祭集客数(全体) 1,000名 ホール公演配信視聴者数 500名	-		8月から9月の実施に向けて準備している。	-		八王子音楽祭2021 いちようホールで予定していた次の展覧会および公演は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期とした。 ・世界の楽器展覧会 一令和4年(2022年)3月24日～27日に延期 ・和～るど・ミュージック祭り! 一令和4年(2022年)5月28日に延期 ・滞空時間Taikuhjikangの影絵と音楽 一令和4年(2022年)5月29日に延期	-		八王子音楽祭2021 いちようホールで予定していた次の展覧会および公演は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期とした。 ・世界の楽器展覧会 一令和4年(2022年)3月24日～27日実施(来場者数379人・スタッフ55人) ・和～るど・ミュージック祭り! 一令和4年(2022年)5月28日に延期 ・滞空時間Taikuhjikangの影絵と音楽 一令和4年(2022年)5月29日に延期	-	新型コロナウイルスの影響により、ホール公演が延期となったため、本項目については評価対象外とする。	八王子音楽祭2021 いちようホールで予定していた公演事業は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期としたが、展覧会事業については実施した。
	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】		「お客様の声対応システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。要望1件、苦情5件、謝辞5件	B	ネット通信環境に対する苦情は使用状況により再現できない場合が多いため、確認は迅速に行うよう掛けている。		A	トラブル時の対応に対応し、謝辞をいただいたことは評価できる。		「お客様の声対応システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。要望2件、苦情2件、謝辞28件	B
行われるか、効率的な管理が図られるか	管理経費(人件費、修繕費を除く)の支出額 収支計画以下【111,308千円以下】	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期管理経費支出額 29,762,562円	-		第2四半期管理経費支出額 17,394,768円 累計 47,157,330円	-		第3四半期管理経費支出額 11,276,540円 累計 58,433,870円	A	目標値の120%以上で達成したため、A評価とした。新型コロナウイルスの影響により支出が抑えられた面もあるかと思うが、積極的に支出の削減に努めたとのことであり、その成果として評価する。	第4四半期管理経費支出額 16,675,874円 累計 75,109,744円
	利用料金収入 収支計画以上【106,400千円(キャンセル料は除く)】	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期利用料金収入額 15,296,340円	-		第2四半期利用料金収入額 22,230,980円 累計 37,527,320円	-		第3四半期利用料金収入額 22,091,660円 累計 59,618,980円	-	新型コロナウイルスの影響により、目標を大きく下回った。やむを得ない理由によるものであり、本項目については評価対象外とする。	第4四半期利用料金収入額 18,761,520円 累計 78,380,500円
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	施設の年間日数利用率	-	年度末の数値をもって評価する。	ホール日数利用率 70.2% 利用可能日数 114日 利用日数 80日	-		ホール日数利用率 83.3% 利用可能日数 150日 利用日数 125日	-		ホール日数利用率 88.4% 利用可能日数 146日 利用日数 129日	B	目標を達成したことを評価したいところだが、A評価の基準まで至っていないため、やむなくB評価とする。	ホールの年間日数利用率 81.3% 年間利用可能日数555日、 年間利用日数451日 第4四半期実績 80.7% 利用可能日数 145日、利用日数 117日
	練習室 会議室 展示室 60%以上	-	年度末の数値をもって評価する。	練習室 会議室 展示室 日数利用率 63.2% 利用可能日数 475日 利用日数 300日	-		練習室 会議室 展示室 日数利用率 61.9% 利用可能日数 712日 利用日数 441日	-		練習室 会議室 展示室 日数利用率 74.7% 利用可能日数 685日 利用日数 512日	B	目標を達成したことを評価したいところだが、A評価の基準まで至っていないため、やむなくB評価とする。	練習室等の年間日数利用率 67.4% 年間利用可能日数2,565日 年間利用日数1,730日 第4四半期実績 68.8% 利用可能日数693日、利用日数477日
	創作室 茶室 50%以上	-	年度末の数値をもって評価する。	創作室 茶室 日数利用率 51.6% 利用可能日数 157日 利用日数 81日	-		創作室 茶室 日数利用率 47.7% 利用可能日数 237日 利用日数 113日	-		創作室 茶室 日数利用率 65.4% 利用可能日数 228日 利用日数 149日	B	目標を達成したことを評価したいところだが、A評価の基準まで至っていないため、やむなくB評価とする。	創作室・茶室の年間日数利用率 54.9% 年間利用可能日数853日 年間利用日数468日 第4四半期実績54.1% 利用可能日数231日、利用日数125日
指定管理事業:鑑賞事業実施件数 4件/年	-	年度末の数値をもって評価する。	来生たかお 507人 計1件	A	新型コロナウイルスの影響がある中、上半期のうちに年間目標件数を超えたことを評価する。	ピアソラ誕生記念by八人の王子 334人 福川淳二の怪談ナイト 365人 ロビンソン・ロビンソン(4回) 延1,460人 平和を考える集い 42人 計4件 累計5件	A	目標を大きく上回った。音楽、演劇、落語、講演など様々なジャンルの鑑賞事業を展開しており、文化芸術の振興につなげている。	落語会 209人 ビッグバンド 145人 ピアノトリオ 100人 計3件 累計8件	A	新型コロナウイルスの影響があるなか、年間をつうじて鑑賞事業を実施し、目標回数を大きく上回った。様々なジャンルの鑑賞事業を行っており、本市の文化芸術の振興につなげている。	2/11 加藤登紀子 625人 2/20 夏井いつき 652人 計2件 累計10件	
指定管理事業:市民参加型事業実施件数 6件/年	-	年度末の数値をもって評価する。	計2件 初心者のためのいけばな教室(第一四半期) 2回延べ43人参加 学生演劇ワークショップ(通年) 3回55人参加	-		計1件 累計3件 初心者のためのいけばな教室(第二四半期) 1回12人参加 学生演劇ワークショップ(通年) 3回49人参加 ユースオーケストラ演奏会 1回43人参加	-		計2件 累計5件 初心者のためのいけばな教室(第三四半期) 6回延べ113人参加 学生演劇ワークショップ(通年) 3回325人参加 ユースオーケストラ演奏会 1回43人参加	B	初心者のためのいけばな教室(第四四半期) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 第一四半期～第三四半期 累計9回延べ168人 学生演劇ワークショップ(通年) 3回320人参加 累計12回749人参加	実施なし 累計5件	
本市の文化芸術振興に向けた管理運営がなされていること	A	「八王子市文化芸術振興条例」及び「八王子市文化芸術ビジョン」に基づき、文化芸術の振興に向けた管理運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	新型コロナウイルスの影響がある中で、感染症対策を徹底し、文化芸術活動の拠点施設として機能している。条例やビジョンに基づく取り組みがなされており、評価したい。	コロナ禍においても、感染拡大を防止しながら施設を提供する面から文化活動を「ささえ」、昨年できなかった発表の場の確保を通じて、次世代の文化活動を「そだてる」管理運営を行っている。 【第二四半期実績】 7/22 ピアソラ生誕記念by八人の王子 7/28 福川淳二の怪談ナイト 8/14・15 八王子子どもミュージカル ロビンソン・ロビンソン(4回公演) 9/18 平和を考える集い ロビーコンサート 7回 初心者のための学生演劇ワークショップ(通年)通年学生演劇WS 3回	A	新型コロナウイルスの影響がある中で、感染症対策を徹底し、文化芸術活動の拠点施設として機能している。条例やビジョンに基づく取り組みがなされており、評価したい。	コロナ禍においても、感染拡大を防止しながら市民文化祭をはじめとする文化活動の施設利用を「ささえ」、合唱コンクールなどの学校行事やユースオーケストラの活動を通じて次世代の文化活動を「そだてる」管理運営を行っている。 【第三四半期実績】 10/6 落語会 10/6 ビッグバンドコンサート 11/20 ユースオーケストラ演奏会 11/18 ピアノトリオのタペ ロビーコンサート 9回 初心者のためのいけばな教室 6回 学生演劇ワークショップ(通年) 3回	A	年間を通じて「ロビーコンサート」や「初心者のためのいけばな教室」を開催し、地域の文化施設として市民に文化芸術に触れる機会を提供している。また、「学生演劇ワークショップ」の通年開催など、次世代の文化芸術の担い手の育成にも取り組んでいる。「こたえる」取組として「ロビーコンサート」を11回、「初心者のためのいけばな教室」を6回実施した。「こたえる」取組として「加藤登紀子コンサート」を行った。 新型コロナウイルスの影響により施設の使用制限がある中で、多くの事業を実施したことは、文化芸術の振興を図るための取組として評価したい。	年間を通じて電気、ガス、水道の節約の徹底を図った。具体的には施設の利用状況に合わせた空調の適切な温度調整や運転停止、照明の調整などを行った。また、節水協力の貼り紙を行っている。	【第四四半期実績】 条例やビジョンに基づき、コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを遵守し、文化芸術の振興に向けた管理運営を行った。 ・「こたえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を11回、「初心者のためのいけばな教室」を6回実施した。 ・「こたえる」、「つたえる」取組として「学生演劇ワークショップ(通年)」をコロナウイルス感染症対策を十分行ったうえで、3回実施した。		
資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がなされていること	B	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	年間を通して電気、ガス、水道の節約の徹底を図った。具体的には施設の利用状況に合わせた空調の適切な温度調整や運転停止、照明の調整などを行った。また、節水協力の貼り紙を行っている。	B	年間を通して電気、ガス、水道の節約の徹底を図った。具体的には施設の利用状況に合わせた空調の適切な温度調整や運転停止、照明の調整などを行った。また、節水協力の貼り紙を行っている。	年間を通して電気、ガス、水道の節約の徹底を図った。具体的には施設の利用状況に合わせた空調の適切な温度調整や運転停止、照明の調整などを行った。また、節水協力の貼り紙を行っている。	B	年間を通して電気、ガス、水道の節約の徹底を図った。具体的には施設の利用状況に合わせた空調の適切な温度調整や運転停止、照明の調整などを行った。また、節水協力の貼り紙を行っている。	B	年間を通して電気、ガス、水道の節約の徹底を図った。具体的には施設の利用状況に合わせた空調の適切な温度調整や運転停止、照明の調整などを行った。また、節水協力の貼り紙を行っている。	B	年間を通して電気、ガス、水道の節約の徹底を図った。具体的には施設の利用状況に合わせた空調の適切な温度調整や運転停止、照明の調整などを行った。また、節水協力の貼り紙を行っている。	

令和3年度(2021年度)芸術文化会館モニタリングシート

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	利用者を対象とした「避難経路説明会」の実施 当日参加者アンケートで「満足」と回答した人の割合 80%	-		1月の実施に向けて準備をしている。	-		1月の実施に向けて準備をしている。	-		1月の実施に向けて参加者を募集中。	A	本年度からの新たな取組であるが、目標値の120%以上で達成したことから、A評価とした。コロナ禍もあり参加者数が少なかった点は残念であるが、今後に期待したい。	イベント主催者などのホール利用者に対し、避難経路を周知するため、「避難経路説明会」を1月8日に実施した。参加者の満足度100% (大いに満足57.1% 満足42.9%) 参加者14人
	個人情報保護関連研修(情報セキュリティ・マイナンバー等)への参加回数【1回/年】	-		10月実施予定。	-		10月実施予定。	B		10月5日実施 11名受講	B		10月5日に実施 済
	防災・消防訓練の実施または参加回数【2回/年】	-		コロナ禍であることを踏まえ、実効性を伴う内容となるように、防災・消防訓練の実施方法の見直しを行っている。	B	新型コロナウイルスの影響を踏まえ、訓練方法を見直し、実効性が高まるようテーマを設定して実施することとしたこと。	コロナ禍を踏まえ、実効性を伴うように防災・消防訓練の実施方法の見直しを行った。8月から月例全体ミーティングにおいて、実際に即した小規模自衛消防訓練を毎月実施している。8月1日「安全防護」の実際 9月1日「防災備蓄」の確認	A	訓練の実効性が高まるよう実施方法を見直し、テーマを設け訓練を行っている。第3四半期で目標回数を上回った点を評価する。今後の効果に期待したい。	コロナ禍であることを踏まえ、実効性を伴うように月例全体ミーティングにおいて、実際に即した小規模自衛消防訓練を毎月実施している。10月1日「消火器位置」の確認 11月2日「非常口鍵カバー」の破壊体験 12月1日「起震車」による地震体験	A	目標値の120%以上で達成したため、A評価とした。多くの市民が利用する施設の管理者として危機意識をもって臨んでいる。訓練方法を見直し、効果を高めるよう工夫した点は評価できる。	年間6回訓練を実施し、危機管理意識を高めた。コロナ禍であることを踏まえ、訓練については実効性を伴う内容で月例全体ミーティング後に小規模自衛消防訓練を実施することを目指し取り組んだ。また、新たにホールを利用する方に対し災害時安全且つ速やかに対応が出来るよう、1月8日に「避難経路説明会」を開催した。
	AED資格取得率 100% ただし、期中の新規採用者・休職中の職員等は除く	-	年度末の数値をもって評価する。	館職員28名(館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名)対象となるのは24名。うち5名更新が必要となっているため、6月30日現在AED資格取得率は79.2%。	-		館職員28名(館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名)対象となるのは23名。うち更新が必要となっている職員は1名のため、9月30日現在AED資格取得率は95.7%。	-		館職員28名(館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名)対象となるのは24名。うち更新が必要となっている職員はいないため、12月28日現在AED資格取得率は100%。	B		館職員28名(館長1名、主査1名、主任1名、主事2名、管理運営8名、舞台管理7名、施設管理6名、事業企画業務2名)の配置の中、対象となるのは24名。全員が有資格者のため、3月31日現在AED資格取得率は100%。
定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	個人情報の安全管理実施要綱に基づき、適切な管理を行っている。	B	個人情報の安全管理実施要綱に基づき、適切な管理を行っている。	B		個人情報の安全管理実施要綱に基づき、適切な管理を行っている。	B		個人情報の安全管理実施要綱に基づき、適切な管理を行っている。
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例:保険証券】	B		B	公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入している。	B		B		B			年間を通じて公立文化施設賠償責任保険及び公立文化施設自主事業中止保険に加入した。
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか、また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	「事故報告システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。	B		B		B			「事故報告システム」により適切に対応している。実績は月次報告のなかで市に報告している。

B

期末総合評価	
所管課コメント	<p>【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 人員や有資格者の配置は、適切に行われている。様々な研修を通じて人材の育成に努めており、利用料金の収受等についても適正に行われていた。また、設備点検を定期的に行い、不具合が生じた場合には繰り返し点検を行うなど、施設の安定的な管理運営に努めていた。</p> <p>【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 開館日数、時間は適正であり、文書や備品の管理も適切に行われていた。臨時職員を含めた職員全員がサービス介助士を取得しており、幅広い利用者への配慮を心掛けている。備品管理に関しては、日々の清掃や除菌、破損個所の修繕など、利用者の声を踏まえた管理運営を行った結果、多くの謝辞が寄せられた。</p> <p>【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者満足度は高い水準を維持している。新型コロナウイルスの影響による公演の中止や施設の利用制限のお知らせなど、数多くの情報を発信し、利用者サービスの向上に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用のキャンセルの申し出やチケット払戻しなどについて、適切に対応していた。</p> <p>【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行なわれているか】 新型コロナウイルスの影響による施設の休館や利用制限があったものの、利用率は高い水準にあり目標を達成した。また、感染拡大防止対策を講じたうえで多くの指定管理事業を行い、文化芸術の振興を図るとともに、市民に文化芸術活動の場を提供した。</p> <p>【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報の管理及び危機管理体制の確立について、いずれも適正に行われていた。防災・消防訓練については目標を上回る回数を実施した。また、新たな取組としてホール利用者に対し「避難訓練説明会」を行うなど、危機管理意識を高めて管理運営にあたった。</p> <p>【総括】 開館から27年が経過し、設備などの一部に経年劣化が見られるなか、適切な施設の安全管理に努めていた。新型コロナウイルスの影響により、休館や事業の一部中止などもあったが、ロビーコンサートをはじめとした市民が文化芸術に触れる機会の提供や、初心者のためのいけ花教室など新たに文化芸術活動を始める機会の提供を通じて、市民文化の振興拠点としての役割を果たしている。引き続き、指定管理者の特性を活かした管理運営を行うとともに、広く市民に親しまれる文化施設となるよう努めていただきたい。また、今後予定している大規模改修では、これまで培った知識、ノウハウの提供や、運営者の視点からの提案に期待したい。</p>